

正義を叫ぶ校庭に
示すは今日の晴れの場所

動物飼育実習施設を設ける。

(牛舎・鶏舎・兎舎・鳩舎・家鴨舎)

校舎東裏石垣を修復

昭8 県下優良農業補習学校・同青年訓練所として表彰され、特別補助金三〇〇円を頂戴する。

昭9 奉安殿・役場落成

昭10・4 補習学校と青年訓練所とを合併して、長谷村青年学校と改称する。

昭11・5 作業場を建設。(佐藤主殿氏の寄贈)

〈昭和初期(終戦まで)の教育〉

昭和に入ると軍部が台頭するようになり、満州事変から日華事変と、次第に軍国主義への道を歩み始めるのである。そうした動きが学校教育をも大きく変えていくことになる。

△教育指針(抜粋) —昭和十五年の記録より—

教育に関する勅語の御聖旨を奉体し、新時代興亜の大理想に則り、皇国民としての実力ある忠良有義の第二国民を養成する。

一、実業教育を尊重し、大国民に必要な科学的訓練を与え、勤労の美德と、質実剛健の気概とを養い、不言実行の大度量の人物を養成する。

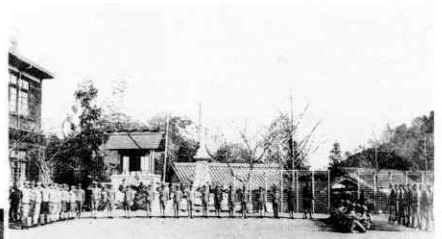
一、勤儉、礼儀、共同これ則ち本校教育の力なり。

△智育・訓育面

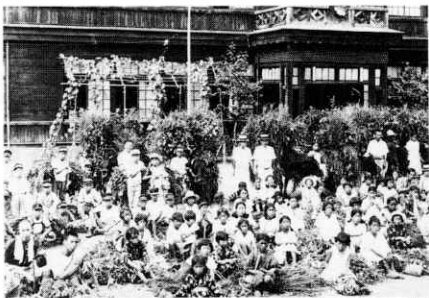
●体操競技会、珠算競技会、書方図画競技会、書取競技会、運動競技会等をして、実力の向上に努める。

●毎月十三日を作業日とし、労作教育を行なう。(藁作業、竹細工など)

▼戦時体制次第に強化
—教練にも熱が入る—



▼全校草刈作業 (牛も協力してくれました)



▼矢田猿馬先生の授業
—造林について—

